

# 新型コロナウイルス感染症などに対応する経済支援

## ■物価高騰対策として市内事業者へ支援金を給付しました

新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格の高騰や物価高の影響を受けている市内中小企業や個人事業主、農業者の負担軽減を図るため、支援金を給付し事業活動の継続を支援しました。

- 農業法人、農林業経営者…農林振興課
- 公的サービス提供事業所…福祉課、介護保険課、いきいき健康課、こども課
- 上記以外の事業者…シティセールス推進課



## ■住民税非課税世帯などへ価格高騰緊急支援給付金を支給しました

長期化するコロナ禍の状況を踏まえ、さまざまな困難に直面する世帯への支援のため、国の制度に基づく給付金として、住民税非課税世帯などに対し、1世帯につき5万円、6,556世帯分を支給しました。

## ■橋本市生活応援クーポン券を発行しました

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭や地域経済を支援するため、1人当たり5,000円分（地域店舗限定分2,500円、加盟全店舗共通分2,500円）の「みんなで支えあい橋本市生活応援クーポン券（第二弾）」を発行しました。



◀ 地元店舗限定分



▶ 加盟全店舗共通分



# 持続可能な財政構造を目指して

今後の行政運営においては、高齢化の進展や医療費などの社会保障関係経費のさらなる増加が予測される中で、老朽化の進む公共施設やインフラの整備・改修など、計画的な財政運営がより一層求められます。

本市では、令和4年度から5カ年を計画期間とした「橋本市中期財政計画」を策定し、将来の財政収支を明らかにした上で、橋本市の収入に見合った適正で健全な財政運営に努めています。

質の高い行政サービスを提供し続けていくため、市が持つ限られた人的・物的資源を効率的・効果的に活用することで、持続可能な行政運営の実現を目指していきます。



# ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

## ■小・中学校の大規模改修工事の設計を行いました

小・中学校の長寿命化改良工事やトイレ改修工事を継続して行なっています。

令和4年度は、城山小学校の長寿命化改良工事、紀見小学校の外壁改修工事、恋野小学校のトイレ改修工事の工事設計を行いました。



▶ 紀見小学校外壁工事

## ■公民館・郷土資料館建設事業に取り組みました

紀見地区公民館・郷土資料館・あさもよし歴史館を統合した複合施設建設のため、設計監理委託料を支出しました。



▲ 紀見地区公民館・郷土資料館イメージ図

## ■（仮称）紀見こども園整備事業に取り組みました

令和7年4月開園予定の（仮称）紀見こども園の整備計画に伴い、旧柱本幼稚園解体工事および（仮称）紀見こども園新築工事を実施するための設計監理等委託料を支出しました。

## ■子どもたちがパソコンを使える環境を整えました

小・中学校の児童生徒が、1人1台の学習用コンピュータ（タブレット端末）を用いて授業を受けることができる環境を維持するため、光回線の使用料や端末の運用保守委託料などを支出しました。

## ■子ども医療費無償化の範囲を拡充しました

子どもの健康の保持および増進のため、小学校就学から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子どもの医療費を助成しました。令和3年度までは中学生までが対象でしたが、令和4年10月から対象年齢を18歳までに拡充しています。



## ■市内学童保育所を移転し、運営費を補助しました

校舎から遠距離にあった柱本地区学童保育所を柱本小学校舎内に移設しました。また、市内24カ所の学童保育所へ運営費を補助しました。

## 市債と基金

特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して9億円増加し、52億円（うち財政調整基金31億円）となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金（市債）残高は、前年度と比べて21億円減少し、442億円となりました。

